

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども支援ルーム コクーン フォルテ (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年1月15日 ～ 2025年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○従業者評価実施期間	2025年2月12日 ～ 2025年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・自然豊かな環境で五感を育てながら支援が出来る ・静かな環境であるため気持ちのON/OFFがしやすい ・模様替えしたため活動への集中力が向上した	・草刈り、雑草抜きで庭を整備している ・塀の外側（敷地外）にある植物（経口摂取すると毒性のある）の伐採を定期的に業者に依頼し、児童が触れないよう整える ・室内遊具は極力片付け、注意が転導しないよう配慮している。 ・個室を活かして、職員との1対1の活動に集中できるようにしている。	・蚊などの害虫が近づかないような植物を植えて、より安全に遊べるよう配慮する。 ・物品の取捨選択 ・部屋と活動の結びけを児童たちと行い、活動の静と動を意識できるよう支援していく。
2	・支援プログラムが固定化しないよう考え実施できている ・子どもの「好き」を取り入れ、興味を持って取り組み自信をつけられるような支援プログラムを実施している	・毎日支援会議を行い、来所される児童に合わせてプログラムを考案している。 ・職員全員が児童に対して共通認識を持てるよう普段から情報交換を行っている。	・これまでの支援経過を踏まえて、良かった点・改善点を話し合い改良して再実施できるようにする ・こどもの「できた！」を少しずつ積み重ねられるようスモールステップな課題設定を行う。
3	・送迎時やSNSを活用し、保護者との日常的な情報共有や相談受付ができています。	・送迎時に職員と保護者で密に会話できるよう、環境（人的・物理的）設定を行っている。 ・送迎時に時間が確保できない場合はSNSを通じて保護者に連絡を取れるようにしている。	・送迎時は児童がいることで相談を遠慮される保護者が少ないため、家族支援をより行えるよう体制を整える ・相談しやすい雰囲気・環境づくりを整える

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・体性感覚（主に前庭・固有）を入力できる玩具や環境が不十分であり、児童の感覚ニーズを充足することに難しさがある	・平屋家屋のため、室内での空間の上下を活かした活動を展開ににくい ・屋外では風雨などの影響で維持が難しい。	・施設的环境（広い庭など）を活かした運動課題を設定し整える
2	・避難訓練や普段の活動内容を広く公表する環境が整っていない	・独自のHPがなくSNS（Instagram）も更新できていない状況である。個別でお伝えするようにはしている。	・SNS（Instagram）の更新、QRコード玄関に掲示 ・避難訓練等イベント実施後は報告書を作成し玄関に掲示
3			